

宮城県石巻工業高等学校 [全日制課程 (機械科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県石巻工業高等学校は、「堅忍不撓」を校訓とし、芯の強い人間性、強い責任感、真面目な生活態度に徹した人材を育成します。また、生徒には特別活動や部活動、資格取得等に積極的に取り組むことを促し、確かな知識を持ち、自ら考え意欲的に行動する誠実で思いやりのある人材を育成するとともに、教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画することにより、地域に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 職業人として工業の発展を担い、実学すなわち物事を実証的かつ真実を解明し、問題を解決していく科学的な姿勢を育成します。
- 持続可能で新たな社会を創造するための、斬新なアイデアを生み出すことのできるイノベティブな生徒を育成します。
- 工業のもつ社会的な意義や役割をよく理解し、関連する資格や技術を身に付け職業人としての倫理観や使命感を醸成し社会の発展に貢献できる生徒を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 機械に働く力や材料および機械装置を理解するとともに、原動機に関わるエネルギーや環境保全に主体的に取り組む態度を養います。
- シーケンス制御や産業用ロボットなどの機械、電気、電子及び情報に関する各分野の構成を理解し関連する技術を身に付けます。
- 生産技術の自動化やネットワーク化を理解し人と機械が協調して生産性を向上、改善することを自ら学び、また各学年の実習を通して実践・経験した問題点や課題について対応して解決する力を養います。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 機械系のものづくりに関わる分野、またはそれを支える技術に興味・関心をもち、専門分野での就職や進学を目指す生徒。
- 専門的な知識や技術の習得、資格取得などに意欲的にチャレンジする生徒。
- 基本的な生活習慣が身に付いており、学校生活において他の模範となる生徒。
- 部活動や生徒会活動、校外活動などに積極的に取り組む意欲を持つ生徒。

宮城県石巻工業高等学校 [全日制課程 (電気情報科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県石巻工業高等学校は、「堅忍不撓」を校訓とし、芯の強い人間性、強い責任感、真面目な生活態度に徹した人材を育成します。また、生徒には特別活動や部活動、資格取得等に積極的に取り組むことを促し、確かな知識を持ち、自ら考え意欲的に行動する誠実で思いやりのある人材を育成するとともに、教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画することにより、地域に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 物事を本質的に捉え、仕組みや構造、成り立ちについて常に探究心を持ち、あらゆる事態にも対処できる思考力と技術力、行動力を育成します。
- 現在の社会生活で最も欠かすことのできないライフラインである電気に対して、正しい知識と責任感をもち、世の中を支える一員としての誇りをもつ心を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 経済産業省の定める「第三種電気主任技術者認定」の基準を満たすことを最重要要件とし、教育課程を編成します。
電気基礎・電力技術・電気機器といった将来電気を扱う人材として最も基本的で重要な電気分野の学習を行います。
- 機器の制御に必要な情報技術の習得と、一般的な情報分野の習得を目指します。
C言語をベースとしてプログラミングを学習します。また、ICT機器の取扱い、また、文書の作成、プレゼンテーション、画像処理など、当たり前前に社会で取り扱われている情報の分野について学習します。
- 豊富な実習テーマを設け、幅広く技術を習得します。
毎週1テーマを原則として、電気工事、電子回路製作、機器の制御、保守点検、プログラミング、自動制御などの学習を行います。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 電気・情報系のものづくりに関わる分野、またはそれを支える技術に興味・関心をもち、専門分野での就職や進学を目指す生徒。
- 専門的な知識や技術の習得、資格取得などに意欲的にチャレンジする生徒。
- 基本的な生活習慣が身に付いており、学校生活において他の模範となる生徒。
- 部活動や生徒会活動、校外活動などに積極的に取り組む意欲を持つ生徒。

宮城県石巻工業高等学校 [全日制課程 (化学技術科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県石巻工業高等学校は、「堅忍不撓」を校訓とし、芯の強い人間性、強い責任感、真面目な生活態度に徹した人材を育成します。また、生徒には特別活動や部活動、資格取得等に積極的に取り組むことを促し、確かな知識を持ち、自ら考え意欲的に行動する誠実で思いやりのある人材を育成するとともに、教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画することにより、地域に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 工業技術の進歩に主体的に対応できる創造性豊かで、地域に貢献できる実践的な技術者を育成します。
- 工業のもつ社会的な意義や役割を理解して、関連する資格や技術を身につけて、職業人としての倫理観や使命感を醸成し、社会の発展に貢献できる生徒を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 基礎・基本を重視した教育課程を編成します。
「工業情報数理」で、化学工業に必要な基礎的な知識や技術を学習します。
「工業化学」「化学工学」を通し、化学工業に関する基礎的な知識を習得します。
「地球環境化学」「セラミック化学」を通じて発展的な知識を習得します。
- 豊富な実習テーマを設け、幅広く技能を習得します。
専門的な知識・技能について、「工業技術基礎」「化学技術実習」を通じて体験的に習得します。各学年とも1年間を通じてテーマを設定しています。1年次は主に分析や基礎的な化学実験などに取り組みます。2年次は主に有機合成や単位操作などに取り組みます。3年次は主にコンピュータによる制御や生物化学、材料化学について取り組みます。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 化学系のものづくりに関わる分野、またはそれを支える技術に興味・関心をもち、専門分野での就職や進学を目指す生徒。
- 専門的な知識や技術の習得、資格取得などに意欲的にチャレンジする生徒。
- 基本的な生活習慣が身に付いており、学校生活において他の模範となる生徒。
- 部活動や生徒会活動、校外活動などに積極的に取り組む意欲を持つ生徒。

宮城県石巻工業高等学校 [全日制課程 (土木システム科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県石巻工業高等学校は、「堅忍不撓」を校訓とし、芯の強い人間性、強い責任感、真面目な生活態度に徹した人材を育成します。また、生徒には特別活動や部活動、資格取得等に積極的に取り組むことを促し、確かな知識を持ち、自ら考え意欲的に行動する誠実で思いやりのある人材を育成するとともに、教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画することにより、地域に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- わたしたちが普段生活していく上で必要な、社会基盤と呼ばれる道路、河川、鉄道、上下水道等の整備や、自然災害から人々の生命財産を守る施設の整備などに、使命感を持って当たる生徒を育成します。
- 社会基盤の重要性をよく理解し、関連する資格や技術を身に付け、環境に配慮した街づくり、そして地域の文化や歴史を尊重した持続可能な生活空間の実現を目指す生徒を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 基礎基本を重視した教育課程を編成します。
工業技術基礎・工業数理基礎・情報技術基礎において、工業に必要な基礎的な知識技術を学習します。
- 社会の要請に柔軟に対応できる創造性豊かな土木技術者を育成するための教育課程を編成します。
課題研究・土木実習・土木製図において、産学官連携によるICT情報化施工(ドローン・3Dスキャナーによる起工測量)や、国道維持作業・地域貢献等を通して学習します。
- 資格取得にも対応できる教育課程を編成します。
土木施工・社会基盤工学・土木基礎力学・測量において、2級土木施工管理技術検定測量士補取得に対応できるよう学習します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 土木系のものづくりに関わる分野、またはそれを支える技術に興味・関心をもち、専門分野での就職や進学を目指す生徒。
- 専門的な知識や技術の習得、資格取得などに意欲的にチャレンジする生徒。
- 基本的な生活習慣が身に付いており、学校生活において他の模範となる生徒。
- 部活動や生徒会活動、校外活動などに積極的に取り組む意欲を持つ生徒。

宮城県石巻工業高等学校 [全日制課程 (建築科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県石巻工業高等学校は、「堅忍不撓」を校訓とし、芯の強い人間性、強い責任感、真面目な生活態度に徹した人材を育成します。また、生徒には特別活動や部活動、資格取得等に積極的に取り組むことを促し、確かな知識を持ち、自ら考え意欲的に行動する誠実で思いやりのある人材を育成するとともに、教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画することにより、地域に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 本校での建築の専門科目の基礎・基本を重視した系統的な履修を通して、建築系はもとより、インテリア、デザイン系といった分野にも対応できる人材を育成します。
- 建築設計製図、建築実習、課題研究などの実習科目、インターンシップなどの体験を通して学校での学習内容と実社会との関連性についての理解と職業観や勤労観の育成並びに学習意欲の向上をはかります。
- 企業での現場実習や教育界と産業界が連携したものづくり人材育成プログラム「クラフトマン21」に積極的に取り組み、地域産業を担う専門的職業人を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 科目「建築設計製図」「建築計画」「建築構造」「建築構造設計」を通し、建築に関する基礎的な知識と技術を習得させ、住宅をはじめとする建築物の豊かな建築空間を合理的に企画・計画・設計できる能力を育てます。また、建築物の構造及び建築材料に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に建築設計に活用する能力と態度を育てることを目標とします。さらに建築構造設計に関する知識と技術を習得させ、構造物を安全で合理的に設計する能力と態度を育てることを目標とします。そして建築生産における最終過程である施工については、着工から竣工までの各工事の概要を学習し、いろいろな業種の人達が協力し合って、一つの建築物を建てていることを理解することをねらいとします。これらの教科で学ぶことを「建築実習」を通して、さらに体験的に習得します。
- 卒業の年に取得可能となった建築士に向け、その基準を満たすことのできるよう、教育課程を編成します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 建築系のものづくりに関わる分野、またはそれを支える技術に興味・関心をもち、専門分野での就職や進学を目指す生徒。
- 専門的な知識や技術の習得、資格取得などに意欲的にチャレンジする生徒。
- 基本的な生活習慣が身に付いており、学校生活において他の模範となる生徒。
- 部活動や生徒会活動、校外活動などに積極的に取り組む意欲を持つ生徒。